

一般質問の報告

▼地域防災力強化で命を救え！

人口の出入が激しく、集合住宅も増加し、顔が見える関係が薄くなっていく埼玉県において、地域社会の健全な人間関係やネットワークなどの見えない共助の力の促進は最重要課題です。



埼玉県では阪神淡路大震災の教訓から、地域社会の構成員である「自主防災組織」、「災害ボランティア」、「地域のサポート企業・事業所」で「さいたま防災ネットワーク」を構築して災害時の被害軽減に取り組んでおります。

今回の質問では、これらの3つの重要な構成員それぞれの「共助を促す取組」について具体的な提案を行ない改善を求めました。

さいたま防災ネットワーク



すがわら文仁 高齢化や役員の交代など、自治会の課題が組織の課題に重なる自主防災組織は、必ずしも災害対応能力が高い組織ばかりとは言い難い。防災政策の重要な基礎資料や活発な活動を広げるためにも、県内における自主防災組織の実態を調査し、活動状況を把握すべきだと思うがいかがか。



槍田義之 危機管理防災部長 各組織の活動状況等を定期的に調査・分析し、市町村に情報提供するなど、市町村と連携して自主防災組織の活性化に取り組む。



すがわら文仁 創設20年が経過した「埼玉県災害ボランティア登録制度」は、登録者も減少傾向であり、災害ボランティアが一般化した現在、県の単位で一般的なボランティアを登録する意義は薄い。応急危険度判定士や看護師・介護士など、専門的な技能や知識をもった「ボランティア人材バンク」をつくり、制度をさらに発展させてはどうか。



※埼玉県災害ボランティア登録制度：県内で活動を希望する個人及び団体が登録を行い、災害発生時には登録者の自主性により多岐にわたるボランティア活動を行なう。現在154名の個人と、38の団体が登録をしている。

槍田義之 危機管理防災部長 制度の見直しの必要性を感じている。議員から御提案の「さらに高度で専門的なスキルを持つボランティア人材バンクの創設」を含めて、有効に機能する制度となるよう検討する。



本人の一行日記

- 1日 (市内) 訪問市民相談
- 3日 (市内) 美笹商店会さくら祭
- 4日 (市川市) 東京経営短期大学入学式
- 5日 (吉川市) 中原恵人市長表敬訪問
- 6日 (志木市) 市議会議員選挙応援
- 8日 (市内) 小中学校入学式
- 9日 (市内) 事務所用務
- 10日 (市内) 戸田市花フェスタ
- 11日 (市内) 市民相談訪問
- 12日 (市内) 倫理法人会
- 13日 (市内) 戸田第二小学校学校開放視察
- 14日 (市内) 市民相談訪問
- 15日 (県議会) 会派団会議
- 16日 (市内) 地域町会定期総会
- 17日 (上尾市) 埼玉県体操協会総会
- 18日 (台北市) 柯文哲(かふてつ)台北市長表敬訪問
- 19日 (台南市) 賴清徳(らいせいとく)台南市長表敬訪問
- 20日 (台北市) 蔡英文(さいえいぶん)総統表敬訪問
- 21日 (県議会) 総務県民生活常任委員会
- 22日 (市内) 市民相談訪問
- 23日 (市内) 地域町会定期総会
- 24日 (市内) 地域総会定期総会
- 25日 (川口市) 川口保健所視察
- 26日 (県議会) 県政保健医療関連調査
- 27日 (県議会) 市議政策勉強会
- 28日 (市内) 地域町会定期総会
- 30日 (市内) 事務所用務

- 2-3日 (京都府) AJG体操競技大会
- 4日 (渋谷区) 体操競技NHK杯
- 6日 (市内) 市民相談訪問
- 7日 (市内) 地域町会定期総会
- 8日 (千代田区) 公共品質マネジメントフォーラム
- 9日 (市内) 市民相談訪問
- 10日 (県議会) 団体陳情対応
- 11日 (市内) 事務所用務
- 12日 (県議会) 会派総務会打ち合わせ
- 13日 (市内) PTA歓迎会
- 14日 (文京区) 日本選挙学会
- 15日 (市内) 地域町会運動会
- 16日 (市内) レクリエーション協会総会
- 17日 (県議会) 会派団会議
- 18日 (県議会) 県政総務関連調査
- 19日 (市内) 商工会青年部
- 20日 (市内) イブニングロータリー10周年例会
- 21日 (市内) 埼玉坂本龍馬会総会
- 22日 (市内) ジョイソフトボール大会
- 23日 (市内) 本町商店会総会
- 24日 (県議会) 知事特別秘書面談
- 25日 (県議会) 一般質問関連調査
- 26日 (市内) 戸田市商工会総代会
- 27日 (さいたま市) 視覚障害者協会調査
- 28日 (市内) グランドゴルフ大会
- 29日 (熊谷市) 熊谷スポーツ文化公園視察
- 30日 (県議会) 会派団会議
- 31日 (県議会) 一般質問関連調査

- 1日 (県議会) 一般質問関連調査
- 2日 (市内) 戸田市PTA連合会総会
- 3日 (市内) 戸田市体育協会総会
- 4日 (県議会) 一般質問関連調査
- 6日 (県議会) 本会議6月定例会開会
- 7日 (県議会) 性暴力・性被害者支援勉強会
- 8日 (県議会) 一般質問関連調査
- 9日 (県議会) 議案調査
- 10日 (県議会) 本会議一般質問(登壇)
- 11日 (市内) 上戸田商店会総会
- 13日 (県議会) 本会議一般質問
- 14日 (県議会) 本会議一般質問
- 15日 (県議会) 本会議一般質問
- 16日 (県議会) 本会議一般質問
- 17日 (県議会) 議案調査
- 18日 (市内) 笹目地区環境対策協議会総会
- 19日 (熊谷市) 新体操団体予選
- 20日 (県議会) 総務県民生活常任委員会
- 21日 (県議会) 議案調査
- 22日 (県議会) 会派倫理委員会
- 23日 (県議会) 公社事業対策特別委員会
- 24日 (県議会) 会派政務調査会勉強会
- 25日 (さいたま市) ジョン・ゴールド教授五輪会場視察
- 26日 (市内) 身体障害者福祉会総会
- 27日 (県議会) 本会議6月定例会閉会
- 28日 (県議会) 団体陳情対応
- 29日 (熊本市) 大西一史熊本市長訪問
- 30日 (佐賀市) 佐賀県教育委員会視察

すがわら文仁 「埼玉県地域防災サポート企業・事業所」は、ここ数年登録数が低迷し、情報のアクセシビリティは悪く、登録後の追跡もない。これでは災害発生時の支援活動にどれだけ繋がるのか疑問である。そこで、住民が一目でサポート企業だとわかり、企業の地域貢献もPRできるように、「帰宅困難者支援ステーション」のように視認性を高めてはいかか。また、登録企業の情報提供・発信を改善し、事業所と行政、自主防災組織などと普段から相互理解を促し、災害時応援協定に繋がるよう、取組んでどうか。



業所※は、ここ数年登録数が低迷し、情報のアクセシビリティは悪く、登録後の追跡もない。これでは災害発生時の支援活動にどれだけ繋がるのか疑問である。そこで、住民が一目でサポート企業だとわかり、企業の地域貢献もPRできるように、「帰宅困難者支援ステーション」のように視認性を高めてはいかか。また、登録企業の情報提供・発信を改善し、事業所と行政、自主防災組織などと普段から相互理解を促し、災害時応援協定に繋がるよう、取組んでどうか。



※埼玉県地域防災サポート企業・事業所制度：災害や事故が起きた場合、登録している地元の事業所が市町村や自主防災組織と協力して地域でサポート活動をする制度。現在、約5272事業所が登録済。

槍田義之 危機管理防災部長 当制度は創設以来10年が経過しており、市町村や県民の方々へ改めて周知が必要と考えている。サポート企業の店頭に登録証を表示していただくなど、視認性を高めることも念頭に、今後は効果的な制度の周知に努めていく。また、情報提供・発信については、今後、災害時応援協定を結ぶライフライン事業者や物流関係団体などと会合を持ち、関連企業の情報を市町村や県民へ提供するなど、地域と企業で災害時の応援の仕組みが生れるよう努める。



熊本城二の丸広場から被災した戌亥櫓と石垣を視察

熊本地震においては、共助により多くの命が救われました。例えば布田川断層の真上にある西原村の大切畑地区では、家屋のほとんどが全損壊しましたが、消防団員と住民同士が連携して下敷きとなった9名の村民を救出し、地区から犠牲者を一人も出さなかったそうです。この奇跡は、まさに「共助」がうまく機能した結果だと思います。埼玉県でも、地域の絆を活かして共助を機能させることで、救える命があります。外交や安全保障政策で国民の命を守るのが国会議員の務めであると同様に、危機管理や防災政策で住民の命を守るのが地方政治家の務めです。これからも、災害対策の調査を重ね、ありとあらゆる政策を打ち出してまいります。

この度の地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の1日も早い復旧をお祈りいたします。

▼市内県道に自転車ナビラインを！

戸田市では、平成25年3月に「戸田市歩行者自転車道路網整備計画」を策定し、歩行者や自転車が安全・快適に通行できる環境づくりを進めています。この計画では、平成32年度を目標として市内に約10キロメートルの自転車ネットワーク、いわゆる自転車レーンや自転車ナビラインを整備する予定です。市の計画を後押しするためにも、市内の中心を走る県道「新倉蕨線」に自転車通行環境を整備するよう提案を行ないました。



すがわら文仁 市道とともに戸田公園駅や市役所にも連結する「県道新倉蕨線」は、自転車ネットワークを形成する上で重要な位置にある。この路線を特に先行して自転車通行環境を整備していただきたい。



浅井義明 県土整備部長 県としても県道新倉蕨線は、重要であると考えている。自転車レーンを整備するには幅員が不足しているため、青い矢羽根型の路面表示を予定している。平成28年度に県道練馬川口線から蕨市内の国道17号までの延長1,900メートル区間を整備していきたい。



編集後記

新聞にも報道されましたが、6月定例会の閉会日に我が会派の所属議員が一切の相談もなく、示し合わせたかのように、突如最大会派に入団するという残念なことが起こりました。政治的野心のために選挙の約束を平気で破る行動には正直がっかりしましたが、同時に「政治家の姿勢」について改めて考えさせられました。

東洋思想の大家である安岡正篤先生は、著書で政治の怠慢と間違いを「四患」として次のように指摘します。第一は「偽」、第二は「私」、第三は「放」、第四は「奢」。つまり、嘘がないか。自分のことばかり考えていないか。無責任でないか。奢りはないか。という政治家の言動に対する戒めです。

また、「雨晴れて傘を忘れる」という格言があるように、苦しい時に受けた恩義を楽になったとたん忘れてしまう人もいます。恩を知り恩に報いる義理人情、そして物事の筋道や道理を我々日本人は大切にしてきたはずです。

議員として、今この場に立たせていただいているのは、支持して頂いた有権者の皆様、そして政治家としてお育ていただいた多くの恩師、同志のお陰です。

お支えていただいた恩義を責任感に昇華して、言葉や行動で示すのが議員の勤めであり、もしそれを違えるのであれば、その議席は即刻、返上すべきです。

政治の四患に陥らず、傘を忘れる人にならぬよう、常に己を磨いてまいりたいと思います。

～最後までお読みいただきありがとうございました～